

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぼかぼかキッズ・ステーション			公表日	令和 8 年 3 月 28 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		放課後等デイサービスを含め定員10名であっても、基準(2.47m/人)を上回る2.98m/人の広さを確保しております。	子どもたちにとってより快適な空間となるよう、レイアウト等吟味してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		専門職を含め基準以上に配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		施設内はバリアフリーであることに加え、視覚支援を随所に取り入れることで子どもたちが見通しのもてる生活環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		登園前、昼食後、降園後に清掃を行っています。感染予防として玩具や器具、手に触れる箇所の消毒は念入りに行っています。また、室内や遊具の点検を職員が行い危険な箇所がないか確認しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		浴室や面談室等併設されている事業所との共有スペースを適宜利用しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		会議等で支援や行事活動についての支援や評価に対する改善策などについて話し合う機会を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向け評価表の経営や意見から保護者の方の意向を確認し、勤務改善やお子様、保護者の方の理解度の向上につなげられるようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		今回行った事業所の自己評価や保護者向け評価を受けた内容などを法人のHPに掲載などしてお知らせをしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		外部機関による第三者評価は、コスト面をクリアすれば実施を検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		虐待防止について外部研修や内部研修をしたりオンライン研修を活用して職員が学べる機会を作りました。今後研修を行っていきながら知識、技術を褒められるように努めます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムに変更が生じた場合は、速やかに変更・周知に努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		お子様の様子や要望の聞きとりを行い、アセスメントを行っています。それに基づいて支援活動を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員との話し合いの中から課題や目標について適切かどうか意見を出し合い計画を作成していきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で計画の内容を共有して支援を行っています。また、会話や会議の中でも協議を行い支援に沿った支援を行っているか話し合っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールを駆使すべく、勉強会等で知識を深めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		保護者の要望なども伺いながら支援に必要な項目を選択しています。どのように支援を行っていくのか具体的な内容を記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		毎月の活動や行事については、月のリーダーを中心に考え、職員間で相談しながら立案しています。	

関係機関や保護者との連携	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		子ども達の様子や課題に応じた活動を考えながら活動を組み立てていますが固定化している活動もあります。集団、個別、遊びの種類などバランスよく考えながら今後も工夫していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		子どもの発達や目標、課題を考慮して個別や集団行動を取り入れた支援計画を取り入れた支援計画を作成していきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援開始前に職員間で打ち合わせを行い活動や職員の動き、お子様の様子、状況について確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		その日に合った出来事や保護者の方からの連絡などの報告を行い協議し職員間で共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		個別の記録、日誌に記録をとっています。支援の振り返りや改善につなげています。6カ月に一回モニタリングを行っています。目標に沿った支援がどうだったか、目標は適切であったか、子どもの様子など評価を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		定期的にモニタリングを行い、検証した上で判断しております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者に加え、子どもの状況に精通したふさわしい職員を会議に参加できるようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		地域の関係機関と連携した支援を行えるように努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		幼稚園、保育園へ共有したり、先生が事業所に来たりしながら双方での様子や目標、ねらい、課題など情報共有をすることに努めていきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて会議等を行い情報などを提供したり相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		今後、児童発達支援センターが設立された際は、連携に加え助言等を受けてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		同法人の保育所と連携し交流を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳やボード、登園公園時に保護者の方へお話をする等情報の共有を図っています。また、面接時に様子を伝えたり、要望を伺ったりしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		個別の相談に応じて対応しています。今後も相談に応じ機会を作っていきたいと思います。	ペアレント・トレーニングの実施を検討すると共に、適切なアドバイス等が行えるよう職員のスキルアップを進めてまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		ご利用を始められる時に保護者の方へ説明をしています。運営規定については玄関に常時閲覧ができるように掲示しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		作成前に保護者の方へ意向確認を行うようにしております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		保護者の方と面談を行い、支援計画の目標やどのような支援を行っていくのか等説明を行い保護者の方から同意をもらっています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者の方より相談があった時は、その都度応じています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		行事を通した保護者同士の交流の場を用意しました。	保護者同士で意見交流や情報交換を行える機会をもう少し提供できるように検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		相談の申し入れがあった場合には管理者、担当者が面談を行い、相談内容に応じて適切に対応できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		園だよりを毎月一回発行しています。行事や月ごとの活動、連絡事項等をその都度お知らせをしています。	今後は、デジタル配信を予定しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		職員からは個人情報取り扱いに対する誓約書を取っています。個人記録ファイル等記録は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、写真や情報発信するにあたり保護者の方に同意書を記入して頂いています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		写真や絵カードを使い整理や活動など分かりやすいように配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		ボランティアの受け入れを積極的に行っております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各マニュアルを作成しており、契約時に説明を行っています。災害や危険に備えた訓練を実施し、実施した際には連絡ボードにて保護者に伝えています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		様々な災害や危険を想定した避難訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		利用開始前の面談時に確認を行っています。情報は職員間で共有し安全にお預かりできるように心掛けています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		利用開始前の面談時にアレルギーの有無を確認しています。アレルギー児が利用される時は、十分に保護者の方と協議し対応しています。必要に応じ医師の指示書に基づいて対応していきます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		毎年安全計画を作成し、適宜見直しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		保護者の方々に安心してご利用いただくために、引き続き安全計画の周知を徹底してまいります。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		今後もヒヤリハットを記入して職員間で共有することを職員に周知していきます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止チェックノートの活用や研修を通して適切な知識を持ちながらより良い支援ができるように取り組んでいきます。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		現在対象となるお子さまはいませんが身体拘束を行う場合はマニュアルに沿いながら職員で検討し保護者に説明を行ったうえで計画に記載します。	